

平成23年11月27日  
今週のベストショット



H23. 11. 27 和白交流グラウンド 三苦ホーネッツ 対 雁ノ巣ライナーズ戦  
普段ベンチから三苦ホーネッツを盛り上げる選手達が存分に力を発揮できた試合だった。  
(写真と記事：奈多サンデーズ 八島久徳)

### 和白交流グラウンド第1試合

雁ノ巣ライナーズ	1 0 0 0 0 0 0	1	負投手：今林貢	HR：なし
三苦ホーネッツ	4 2 3 0 1 0 ×	10	勝投手：井手	HR：稲葉

一回表ライナーズは、2番国崎豪士選手が左前ポテンヒットを放ち、スキを突いて三塁打とすると、3番奥原健太郎選手が放った何でもないショートフライを名手稲葉紘一選手がエラーし、一・三塁に。ここで4番久保田哲也選手が中前タイムリーで先制。しかしその裏ホーネッツは、1番山崎健太郎選手がバントヒット、2番稲葉選手が四球、3番矢野義幸選手のバントヒットが相手エラーを誘い同点。4番広木俊輔選手の犠牲フライで逆転。6番堺巖生選手、7番井手崇運選手が安打で続き4得点。続く二回裏2番稲葉選手の中前、3番矢野選手が中二塁打、4番広木選手の二打席連続犠牲フライと5番松尾卓選手の中前タイムリーで2点。3回裏から控えメンバーを投入するホーネッツは、攻撃だけでなく守備でも控え組の活躍にベンチが盛り上がる。二回以降無安打に抑えられていたライナーズは、最終回何とか一矢報いたいと「代打オレ！」池内壽満監督(61)自ら打席へ。しかし冗談でなく本当に中前ヒットを放ってしまった(； ㄥ)！ 続く1番中口雄太選手も内野安打で続いたが、池内監督を迎え入れることは出来ずゲームセット。控え選手の活躍から、ホーネッツとライナーズとの層の厚さが浮き彫りになり、予想に反する得点差となった。これで両チーム今季の日程を終了。試合後はお互い長い一年を終えた笑顔があった。(記事：奈多サンデーズ 八島久徳)



初回ライナーズ国崎豪士選手が好走塁で三塁を陥れる。



先制のタイムリーを放つライナーズ久保田哲也選手。



一回裏、各チームを悩ませ続けたホーネット山崎健太郎選手のセーフティバントが決まる。



二打席連続で犠牲フライを放つホーネットの主砲・広木俊輔選手。



三回裏、首位打者争いのホーネット山崎選手の代打で犠牲フライを放つ三浦健志選手。



五回裏、右中間に本塁打を放ち、拳を突き上げるホーネット稲葉紘一選手。



途中出場で二打数二安打を放ったホーネットの「ミスター」永島貴文選手。



途中出場でハツラツとした守備を見せたホーネット谷山一塁手と中角二塁手の一二塁間コンビ。



最終回、右前ヒットと思いきや、一塁で刺されたライナース長崎哲士選手。残念。



ライナース長崎選手を刺したホーネッツ中角右翼手。ナイスプレイ！



最終回、二死から代打で中前ヒットを放ったライナース池内壽満監督。



最終戦を終え、お互いに一年の労をねぎらう両監督。来年はもっといい試合を！

### 和白交流グラウンド第2試合

レッドサンデーズ	0 0 0 0 0 0	0	負投手：土師	HR：なし
三友クラブ	1 2 1 2 0 ×	6	勝投手：足達	HR：松尾

両チーム共に今期最終戦という事で緊迫した試合になるかと思われたが、ダブルヘッダーの二試合目という事もありレッドは欠席者が多く苦しい試合となった。序盤からレッドはリーグ奪三振王の三友クラブ足達敬祐投手の多彩な投球の前に凡打の山を築く。一方、三友クラブは初回から小刻みに得点を重ね、松尾徳摩選手のホームランも飛び出し6-0と完封試合で最終戦を飾った。レッドは主力の若手がいなかったのが痛かった。

(記事：三苦ホーネッツ 松尾卓)



三友クラブ足立投手の外角ライズボールにレッド土師投手のバットも空を切る。



来シーズンへの励みとなる最終戦で右越え弾丸ライナーHRを放った三友クラブ松尾徳摩選手。

## 青松園A

三苦三球会 202015 10 勝投手：吉留 HR：なし  
奈多クラブ 000200 2 負投手：小林 HR：なし

初回三球会の攻撃は、4番澤田剛選手の右前タイムリーとパスボールで2点を先制する。三回表には3番塚太一選手がヒットで出塁すると、4番澤田選手の二塁打、6番藤沢選手の三塁打で2点を追加し試合を有利に進める。一方4点を追う奈多クラブは四回裏、二死から砂場知行選手のタイムリーなどで2点差に追い上げ反撃かと思われた。しかし、五回表に三球会に追加点を許すと、六回表は打者一巡の猛攻を受け、終わってみれば10-2の大差で敗れてしまった。

(記事：三苦フレンズ 吉村雄二)



相手ベンチ内で捕球を試みる三球会洪田三塁手。

## 青松園B

ソルトベイスターズ 010010 2 勝投手：池見 HR：なし  
奈多フェニックス 42010× 7 負投手：鶴野 HR：なし

初回、三者三振に終わったソルトに対し、4安打を含む打者一巡の猛攻を見せたフェニックスは早々に4点を先制する。一方二回表ソルトベイスターズは、5番田中広孝選手と7番鶴野巧選手の三塁打で1点を返すものの、後続が打ち取られる。続く二回裏フェニックスは、エラーを足掛りに2本の内野安打で2点を追加、更に四回にも四球をきっかけに追加点をあげ勝利を決定付けた。ソルトベイスターズも五回表に1点を返すものの、序盤の失点を挽回するには至らなかった。尚、本ゲームで負傷し、救急車で搬送されたフェニックス太田敏治選手の一日も早い回復をお祈りいたします。(記事：塩浜ジャガーズ 高嶺信彦)



タッチを掻い潜るフェニックス池見和彦選手。



レフト前ヒットを放ったソルト、真弓洋幸選手。



負傷退場したフェニックス太田敏治選手を見送る池見投手。心配ですね。

## 第23週編集後記

WSLの皆さん、こんにちは！

11月27日は、比較的温かさの残る曇り空の下、4試合が行われました。

和白交流グラウンド第1試合のライナーズ対ホーネッツは、初回ライナーズが相手からもらったチャンスで先制しましたが、1点止まりだったのが痛かったですね。今季のホーネッツは、初回到3点ぐらい失点してしまうとガタガタ~と行ってしまう感がありましたからね。一方ホーネッツは自慢の足でライナーズの今林貢投手を揺さぶり、タイムリーが飛び出すというパターンでした。打ち取られた打球もポテンヒットになり、流れもありましたね。途中からは控え選手が出て活気が出るという見ていて楽しい試合展開でした。最終回二死からのライナーズ池内監督のヒットにはビックリしました。第2試合のレッド対三友クラブは、レッドは人が揃っていなかったため、普段ベンチから口うるさい・・・いやいや暖かい声援を贈るオジサマ方が守備についていたせいもあってか、試合内容も静か~な展開でした。一方三友クラブは足達投手の奪三振ショーに打線も応え、特に松尾徳磨選手の右越えHRは目の覚める一発でした。そういえば、レッド唯一の得点チャンスも、打球がフェールネットに当たった時点でボールデッドという和白交流グラウンド独自のルールに阻まれました。これは少し見直す必要があるかも知れません。青松園Aの三球会对奈多クラブは、奈多クラブ今林瑠投手を先制、中押し、ダメ押しの理想的な得点で攻めた三球会が1敗を守りました。奈多クラブ1番今林賢人選手は吉留投手から二塁打2本と気を吐きましたが後が続けませんでしたね。三球会3番堺太一選手が3打数3安打でした。主砲の4番澤田選手が12月から来れないという噂は本当でしょうか!? ？だとしたら最終戦と勝てばプレーオフは厳しいかもです。青松園Bのソルトベイスターズ対フェニックスは、フェニックス自慢の重量打線が序盤から火を吹きソルトに圧勝し、こちらも1敗を守りました。フェニックスの太田選手の怪我は大丈夫でしょうか? 昨年も奈多サンデーの前田篤志一塁手がバッタランナーと交錯し救急車で搬送されました。幸い骨折には至りませんでした。戦線離脱は余儀なくされました。是非フェニックス関係者の方は情報が入っていましたらお知らせください。

さて、最終戦を残して1敗で3チームが並ぶという三つ巴となりました。

12月4日は、全て7:00から

実力伯仲大注目の優勝争い第一弾、奈多サンデー VS 奈多フェニックス (青松園A)

隣の展開が気になる優勝争い第二弾、三苦三球会 VS 新町パイレーツ (青松園B)

北風の影響が心配される三苦フレンズ VS 奈多クラブ (和白交流グラウンド)

の3試合です。是非、暖い格好で熱い試合観戦に行ってください!

そしてそして、注目のタイトル争いですが、打者部門・首位打者争いでは、奈多サンデーの木下選手がホーネッツの山崎選手を上回りました。最終戦を現状維持か3打数1安打以上で首位打者獲得です。ただし、フェニックス池見選手も4打数4安打以上で可能性が残されています。本塁打王は、奈多サンデー田中選手(8本)を2本差で木下選手と三球会澤田選手が追っています。ちなみにこの3人は昭和50年生まれの36歳同級生です。打点王ですが、奈多サンデー田中選手が同上の二人に6点差をつけて抜き出していますので、これで決まるか? 取れば田中選手は、3年連続打点王です。盗塁王は2位に6差のホーネッツ山崎選手でほぼ決まりでしょう。山崎選手は安打数でも1位となる可能性大ですね。

投手部門・最多勝は現時点で11勝のフェニックス池見投手に決定しています。後は最終戦を飾れるか? 奪三振は2位の池見投手に23差をつけている三友クラブ足立投手で間違いはないでしょう。奪三振率も足立投手ですね。投球回数はレッドサンデーを一人で投げ抜きました土師投手です。来年はサンデーの組閣で登板数が減少するかも。問題は、防御率と勝率ですね。奈多サンデー首藤投手とフェニックス池見投手の争いですが、この二人が崩れて、三球会吉留投手が完封勝ちしたら分かりません。さあ、最終戦の結果次第では順位が入れ替わることも有り得ますから大注目です。

また、最終戦の各編集委員さんは、今期最高の写真と記事をお願いします。

特に写真はきちんとそれぞれプレー名を分かるようにして複数枚送ってください。

(例: 二回表、二死から(チーム名)〇〇選手の目の覚めるような本塁打 など)

スコアブックの写真は絶対に忘れず、高画質で送ってください。

狙え! 今週のベストショット!!